

目次	会務報告	383
	第33回青空地衣教室(神奈川県箱根町箱根九頭龍の森)の報告 / 木下 靖浩・小山内 行雄・安齊 唯夫	383
	第33回青空地衣教室(神奈川県箱根町元箱根 箱根九頭龍の森)で観察された地衣類 / 原田 浩・木下 靖浩・坂田 歩美	385
	2010年5月22日箱根九頭龍の森地衣野外観察会 / 坂本 晴雄	386

### 会務報告 Report of the JSL Activities

#### 第33回青空地衣教室(神奈川県箱根町箱根九頭龍の森)の報告

Report of the 33rd Outdoor School on Lichens at Hakone Arboretum (Hakone Kuzuryu-no-mori), Hakone, Kanagawa-ken, central Japan (22 May 2010) / by Kinoshita Y., Osanai Y. & Anzai T.

◆木下 靖浩・小山内 行雄・安齊 唯夫(地域活性化委員会関東)

神奈川県箱根町において第33回青空地衣教室が開催されましたので、報告いたします。

\* \* \*

開催日：2010年5月22日(土)

開催場所：神奈川県箱根町元箱根  
箱根九頭龍の森(旧 箱根樹木園)

講師：原田浩氏(千葉県立中央博物館)

参加者数：19人(講師を含む)

\* \* \*

昨年6月に青空地衣教室を開催した観察場所に見残した場所があったので、珍しく2年連続で同じ場所での観察会となりました。この1年の間に名称が箱根樹木園から箱根九頭龍の森に変わったため、別の

場所のように見えますが、第29回の開催地と同じ場所になります。交通の便がよい地ゆえ、今年も講師を含め19名の大人数での観察会となりました。



図1. 観察光景.



図2. 箱根九頭龍の森で観察された地衣類. A, クサビラゴケ. B, ヤリノホゴケ. C, ハヤチネウメノキゴケ.

集合時間は10時30分でしたが、道路事情のため、数名の参加者が集合時刻に遅れる事態となりましたが、先発部隊が入り口前の大きな岩に生育していたオオキゴケを観察している間に合流することができ、19名揃って団体割引で入場し、観察を始めました。

箱根九頭竜の森は芦ノ湖の東の湖畔に位置し、標高は約750mです。場所の名称が変わっていても、落葉広葉樹の森に囲まれた草地の中にバンガローが点在し、その付近はカエデ類などの落葉広葉樹が適度な間隔で配されている状況に変わりはなく、あまり移動しなくても多くの種類の地衣類が健在でした。

今回の青空地衣教室でも、同定のための重要な特徴である粉芽（マツゲゴケ）、裂芽（トゲウメノキゴケモドキ）、パステール（ゴンゲンゴケ）の説明、確認から始まり、さらに葉状地衣であるテリハゴケ、トゲトコブシゴケ、藍藻地衣のトゲカワホリゴケ、痾状地衣のスジモジゴケなど、どんどん多種多様な地衣を観察しました。

いつもの青空地衣教室のように、午前中2時間はほとんど移動しませんでした。午後は昨年に見残した地衣を観察するために、園内を大きく（といっても「青空地衣教室」としてはですが）移動しました。移動途中あったカエデの樹幹では、同じ藍藻共生地衣ながら外観の色の異なるアオキノリとトゲカワホリゴケが並んで生育しており、皮層の違いを色で実感することができました。

最後に肉眼で現場でも同定できるモジゴケ属地衣であるヘリトリモジゴケ、セスジモジゴケを観察し、予定の3時にその場で解散しました。日焼けが気になるほどの好天でしたが、木陰の多い場所なので、心地よく観察することができました。

### 第33回青空地衣教室（神奈川県箱根町元箱根 箱根九頭竜の森）で観察された地衣類

Lichens observed during the 33rd Outdoor School on Lichens at Hakone Kuzuryu-no-mori (previously Hakone Arboretum), Hakone, Kanagawa-ken, central Japan (22 May 2010) / by Harada H., Kinoshita Y. & Sakata A.

◆原田 浩\*・木下 靖浩\*\*・坂田 歩美\*\*\*  
（\*千葉県中央博；\*\*地域活性化委員会関東；\*\*\*千葉県中央博共同研究員）

観察場所： 神奈川県箱根町元箱根 箱根九頭竜の森

観察日： 2010年5月22日

#### 観察リスト

<i>Agonomiella pacifica</i>	マユゴケ
<i>Brigantiaea ferruginea</i>	サビイボゴケ
<i>Buellia</i> sp.	スミイボゴケ属
<i>Caloplaca flavorubescens</i>	ダイダイゴケ
<i>Canoparmelia aptata</i> or <i>C. texana</i>	シラチャウメノキゴケあるいは タナカウメノキゴケ
<i>Cetrelia braunsiana</i>	トゲトコブシゴケ
<i>Cladonia coniocraea</i>	ヤリノホゴケ
<i>Coccocarpia erythrochili</i>	カワラゴケ
<i>Collema subflaccidum</i>	トゲカワホリゴケ
<i>Dibaeis soledata</i>	コナセンニンゴケ
<i>Fissurina inabensis</i>	スジモジゴケ
<i>Flavoparmelia caperata</i>	キウメノキゴケ
Gomphillaceae sp.	ヒゲゴケ科
<i>Graphis cognata</i>	ツツジノモジゴケ
<i>Graphis proserpens</i>	セスジモジゴケ
<i>Graphis</i> sp.	モジゴケ属
<i>Heterodermia hypoleuca</i>	ウラジロゲシゲシゴケ
<i>Heterodermia japonica</i>	クロアシゲシゲシゴケ
<i>Heterodermia microphylla</i>	チチレウラジロゲシゲシゴケ
<i>Heterodermia obscurata</i>	キウラゲシゲシゴケ
<i>Hypotrachyna nodakensis</i> or <i>H. koyaensis</i>	ノダケウメノキゴケ あるいは コウヤウメノキゴケ
<i>Hypotrachyna osseoalba</i>	ゴンゲンゴケ

*Hypotrachyna pseudosinuosa* タカハシウメノキゴケ  
*Lecanora* spp. チャシブゴケ属  
*Leiorreuma exaltatum* ヘリトリモジゴケ  
*Lepraria* sp. レブラゴケ属  
*Leptogium azureum* アオキノリ  
*Menegaglia terebrata* センシゴケ  
*Myelochroa enthotheiochroa* クスレウチキウメノキゴケ  
*Myelochroa hayachinensis* ハヤチネウメノキゴケ  
*Myelochroa irrugans* ウチキウメノキゴケ  
*Myelochroa metarevoluta* コフキチョロギウメノキゴケ  
*Nephroma helveticum* ウラムゴケモドキ  
*Normandina pulchella* ノルマンゴケ  
*Ochrolechia trochophora* クサビラゴケ  
*Parmelia fertilis* トゲナシカラクサゴケ  
*Parmelia laevior* テリハゴケ  
*Parmelinopsis hoerescens* トゲウメノキゴケモドキ  
*Parmotrema mellissii* ニセマツゲゴケ  
*Pertusaria multipuncta* ? オオカノコゴケ?  
*Phaeophyscia limbata* クロウラムカデゴケ  
*Polychidium dendriscum* ケクスゴケ  
*Porpidia albocaerulescens* var. *albocaerulescens* ヘリトリゴケ  
*Ramalina geniculata* var. *geniculata* ツツレカラタチゴケ

*Rimelia clavulifera* マツゲゴケ  
*Stereocaulon sorediiferum* オオキゴケ  
*Usnea pangiana* ホンドサルオガセ

## 2010年5月22日箱根九頭龍の森地衣野外観察会

The Outdoor School on Lichens at Hakone Kuzuryu-no-mori  
 (22 May 2010) / by Sakamoto H.

◆坂本 晴雄 (埼玉県上尾市)

春霞のまだ雪の残る富士山を見ながらバスで集合時間  
 間に遅れて着くとKさんが駐車場で迎えてくれました。  
 まわりを見ると観光地、気軽な格好の家族連れが大勢、  
 エ！こんなとこに地衣がいるのかな？”皆さん先に行っ  
 てるけどすぐに合流出来まーす”とKさん、早足で車道  
 を離れると芦ノ湖を見下ろす静かな遊歩道。お、いいね、  
 いい雰囲気、少し開けた所に十数名が小さな岩のまわり  
 で怪しげな態勢でカメラとルーペで張り付いてました。  
 合流してから名称が変わった園内に入り原田先生に初  
 心者用にずっと解説して頂きました。20-30種位地衣類  
 の生態観察と同定ポイントを聞きましたが全く身に付  
 きませんでした。樹枝状、葉状、痂状、3つの形態特徴  
 とどんな所に生活しているのかが理解できました。小さ  
 なうるさい虫以外は清々しい一日を過ごし、標本を持ち  
 帰らなかった家で宿題もなくゆっくり出来ました。

## ●複製される方へ

本誌に掲載された著作物を複製したい方は、許諾を受けてくだ  
 さい。詳細は本誌 102号 378ページに。

### ●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or  
 your organization must obtain permission. For details, see  
 No. 102, p. 378 of this publication.

●*Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*,  
 no. 104, pp. 383-386: eds. Harada H. & Kinoshita  
 K., published by the Japanese Society for  
*Lichenology*, 10 June 2010.

## 日本地衣学会ニュースレター 104号

発行日：2010年 6月 10日

編集：原田 浩・木下 薫

発行者・発行所：日本地衣学会

〒203-0021 東京都清瀬市野塩 2-522-1

明治薬科大学 生薬学教室内

©2010 日本地衣学会 (© 2010 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。